自分が並べた商品を買ってくれる人がいる。

自分の考えや感情がまとまらず、
緊張するほど何もできなくなってしまう。
そんな精神障害のある20代の彼女が、
スーパーで働き始めてから一ヶ月。
最初は週一回でもどっとつかれて
大変そうでしたが、並べた野菜を買って
くださるお客さんを見るのが嬉しいと、
最近は調子がよさそう。一緒に働く人たちからも
売り場の一員として認められてきました。
「今日のおすすめは？」
「白菜がおいしいですよ！」

共に働く社会を支える、作業療法の就労支援。

ひとは作業をすることで元気になれる
JAPAN
一般社団法人
日本作業療法士協会
Japanese Association of Occupational Therapists
www.jaot.or.jp